

人文科学研究所研究叢書

15.『現代ヨーロッパ文学の動向 中心と周縁』

1996年3月30日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格4,000円（税別）

ISBN 4-8057-5310-2

まえがき	
I 表現方法	
新しい自伝 —ロブ=グリエの場合	鈴木 重生
ソレルスの小説契約 —『黄金の百合』をめぐって	水野 明路
自己を語る装置としての伝記 —ル・クレジオ『ディエゴ&フリーダ』をめぐって	杉村 裕史
小説と読者 —デュラスとメディア	片山 貢
II 意識	
都市の告発 —ル・クレジオ『戦争』をめぐって	望月 芳郎
中心の運動 —トゥーサン『浴室』の場合	古本 耕三
ボーダーレスな小説空間 —ウィリアム・ボイド『アイスクリーム戦争』	小野 素子
ベケット迷宮 —『クワッド』のイコノロジー	岡室 美奈子
東ドイツ・フェミニズムの特徴 —クリスタ・ヴォルフ『自己実験』	長谷川 弘子
III 状況	
消滅の危機に瀕する小説 —ミラン・クンデラと『不滅』	田中 裕
英国性の探求 —トム・ストップード『アルカディア』	小田島 恒志
偏見を乗り越えたあとに来るもの —ドイツに暮らすトルコ人作家シナジ・ディクメン	鈴木 克己
IV 地域	
「周縁」からのメッセージ —イスマイル・カダレ	平岡 敦
戦場のピクニック —ペーター・トリーニ『ウィーン攻防戦』	新井 裕
村からの自伝 —三女性の『凝固ミルク』『国境を行き来する女』『固いパン』	飯豊 道男
略年表	
索引	